

令和7年度

千葉県市民活動団体 マネジメント事業報告書

—事業力強化をテーマとする講座 全5回—



企画・運営

一般社団法人鎌ヶ谷マネジメントラボ

第1回 事業力強化
「いい活動」で終わらせない!
～団体運営を続けたくなる仕組みづくり～
～持続可能な組織体制と人材育成を実践的に学ぶ～

10.11(土) 14:00-16:00

水更津中央公民館
第1研修室 (3F-7号机4号机)

講師 岩野 実典

Zoom 受講 無料 申込 不要

第2回 事業力強化
スマホからはじめる!
市民活動のICT活用術
～基礎から学び、事業が加速するデジタル活用～

11.29(土) 10:00-12:00

千葉市生涯学習センター
研修室1 (1F-1号机1号机)

講師 野原 達也

Zoom 受講 無料 申込 不要

第3回 事業力強化
心を動かす「伝え方」には、理由がある
～想いと論理をつなぐプレゼンテーションの方法～

12.13(土) 10:00-12:00

千葉市生涯学習センター
研修室1 (1F-1号机1号机)

講師 行巻 芳子

Zoom 受講 無料 申込 不要

第4回 事業力強化
届け、この情熱!
助成金をつかむ「伝え方」講座
～助成金申請疑似体験型ワークショップ開催～

2025.1.18(土) 14:00-16:00

千葉市生涯学習センター
研修室1 (1F-1号机1号机)

講師 山田 昌久

Zoom 受講 無料 申込 不要

第5回 事業力強化
活動を一步先へ!
休職預金を使った事業展開
～社会課題解決に取り組むためのロジカルな事業設計を知る～

2025.1.31(土) 10:00-12:00

千葉市生涯学習センター
研修室1 (1F-1号机1号机)

講師 山田 昌子

Zoom 受講 無料 申込 不要

令和7年度 千葉県市民活動団体マネジメント事業

事業力強化をテーマとする講座 全5回

団体のベースをアップデートして、 事業力強化へ！



市民活動に必要なスキルを学ぶ全5回の連続講座を開催しました。
令和7年度は「人材育成」「ICT事業展開促進」「情報発信」という最新トレンドを含めた基礎的な知識から、資金調達について「助成金」と「休眠預金」という2つの手法を学べる構成としました。

<対象>

- 千葉県内で活動している市民活動団体及びこれから団体を立ち上げようとしている人
- 団体立上げ済みで、運営や継続について悩んでいる人

全5回の講義日程と内容

第1回

人材育成

2025/10/11 (土) 14:00～16:00

“いい活動”で終わらせない！団体運営を続けたいくなる
仕組みづくり～持続可能な組織体制と人材育成を実践的に学ぶ～

会場&オンライン

呉 哲煥（ごてつあき）さん / NPO法人CRファクトリー代表理事

第2回

ICT事業展開促進

2025/11/29 (土) 10:00～12:00

「スマホからはじめる！市民活動のICT活用術」
～基礎から学び、事業が加速するデジタル活用～

オンライン

野際 里枝（のぎわりえ）さん / N-style 代表・一般社団法人ほしかぜ理事

第3回

情報発信

2025/12/13 (土) 10:00～12:00

「心を動かす“伝え方”には、理由がある」
～想いと論理をつなぐプレゼンの方法～

オンライン

行名 則子（ゆきな のりこ）さん / 千葉商科大学名誉教授・千葉商科大学大学院客員教授

第4回 財政基盤強化

助成金

2026/1/18 (日) 14:00～16:00

「届け、この情熱！助成金をつかむ“伝え方”講座」
～助成金申請疑似体験型ワークショップ開催～

会場&オンライン

山田 泰久（やまだ やすひさ）さん / 公益財団法人日本非営利組織評価センター 業務執行理事

第5回 財政基盤強化

休眠預金

2026/1/31 (土) 10:00～12:00

「活動を一步先へ！休眠預金を使った事業展開」
～社会課題解決に取り組むためのロジカルな事業設計を知る～

オンライン

高木 陽子（たかぎ ようこ）さん / 一般財団法人 日本民間公益活動連携機構（JANPIA）

- 定員は各回30名程度と設定しました。
- 申込受付はフォームにて行いました。
- 会場での実施時には、zoomでのオンライン参加も可能にしました。
- 後日、YouTubeにて見逃し配信も行いました。

第1回

いい活動で終わらせない！

団体運営を続けたくなる仕組みづくり

～持続可能な組織体制と人材育成を実践的に学ぶ～

2025年10月11日(土) 14:00~16:00 木更津市中央公民館第7会議室 スパークルシティ 6階 (会場とオンラインの同時開催) 受講者 66名 (内会場7名/Zoom8名/後追い視聴51名)



講師：呉 哲煥 さん

NPO法人CRファクトリー代表理事

「すべての人が居場所と仲間を持って心豊かに生きる社会」の実現を使命に、NPO・市民活動・サークル向けのマネジメント支援サービスを多数提供。セミナー・イベントの参加者は8000名を超え、毎年多くの団体の個別運営相談にのっている。コミュニティ塾主宰。コミュニティキャピタル研究会共同代表。一般社団法人幸せなコミュニティとつながり実践研究所共同代表理事。血縁・地縁・社縁などコミュニティとつながりが希薄化した現代日本社会に対して、新しいコミュニティのあり方を研究し、挑戦を続けている。

【講座のねらい】

- ・ 持続可能な“運営のしくみ”をつくる考え方を知る
- ・ メンバーが気持ちよく関われる環境づくりについて知る
- ・ 「人が育つ」「人が残る」チームへステップアップする

【講座概要】

- ・ 「事業・活動」と「組織」のジレンマ
- ・ コミュニティマネジメントの基本原則
- ・ お金以外の報酬に着目する
- ・ 巻き込みの流れ「興味」「愛着」「主体」

団体運営に悩む活動の共通の課題から、愛着と主体性を育むコミュニティ構築術について話していただいた。参加者からは「役割と出番の設計で、人を巻き込む具体策が見えた」「楽なものに愛着はわかないという指摘にハッとした」等の声が寄せられ、自組織の課題を言語化する機会となった。活動の本質を大切にしつつ、戦略的な「巻き込み」を実践することで、組織を次段階へ引き上げる重要性を学ぶ機会となった。

受講者の皆様の感想

- ・ 巻き込みの流れである、「愛着」と「主体」を今後の活動で意識したい。
- ・ 過去に所属した団体でのモヤモヤを言語化してもらい、私だけが感じていたのではなかったと、安心もしました。誰が悪いわけでもなく、進んで行き方のポイントを知っているメンバーがいなかったせいだと分かりましたので、リーダーでない場所でも立ち回り方があると、良い学びになりました。
- ・ これまでできていなかったことや、今後力の入れどころが見えてきた
- ・ 「楽なものに愛着はわかない」というところ、とてもよい気づきをいただきました。忙しそうだからと遠慮せずに、皆さんにいろいろとお願いしていきたいと思います。
- ・ 巻き込む流れを設計するワークシートで現状を分析できたことが良かった。
- ・ 参加者から主体的な運営者へと育てるために、細やかなアプローチが大切だと分かりました。
- ・ こうして分解して考えていくといろいろと足りないものが見えてきます。ありがとうございました。
- ・ 呉さんのお話はとてもシンプルでありつつ深いもの。多くの団体さんに聞いてもらいたい内容だと感じました。

第2回

スマホからはじめる！

市民活動のICT活用術

～基礎から学び、事業が加速するデジタル活用～

2025年11月29日(土) 10:00~12:00 Zoom開催 受講者 59名 (内 Zoom 6名/後追い視聴 53名)



講師：野際 里枝さん

N-style 代表・一般社団法人ほしかぜ理事

NPO活動においてコーディネーターや、ファシリテーターとして地域での対話を促し、場づくりを行う。

媒体制作ディレクターとしても、CANVAを活用したチラシ制作や、対話の視覚化を行うグラフィックレコーダーとしてもNPOの中間支援分野にて活動している。

ICTを活用した団体運営にも取り組み、子どもたちの表現を軸とした居場所活動やカルチャースクールも運営している。

【講座のねらい】

- スマホでできる“ちょっと便利”を知る
- 活動の見せ方や広め方のコツをつかむ
- デジタルを味方につけて、もっと楽しく活動をするヒントを得る

【講座概要】

- オンラインを使ったアイスブレイク
- LINEの活用
- Googleドライブの活用
- GAS(Google Apps Script)の活用

普段、活動でも日常でも使うLINEの機能を中心に、情報の共有方法やコツを解説いただいた。レベルアップとしてGoogleドライブの活用方法、AIを使ってWEBアプリを作るやり方などもデモンストレーションを交えながら実際にオンライン上でも操作でしながら行った。感想からも、スマホなどの操作についていけないことに課題を感じていることがとてもよく分かった。

受講者の皆様の感想

- LINEは事務局でグループLINEを作っていたが、今日教えていただいた機能を使って、情報共有がやりやすくなると思われる。ただ、LINEやスマホの扱いに慣れていない人も多いため、スムーズに使えるようになるまでが課題。
- 実際にスマホを使ったり、AIを実際に使ってみる流れを体験できたので、とても有意義でした。講師の方がサクサクと画面を切り替えながら意見を出す画面を作っていく様子は、これからの時代、AIを使いこなせなくてはいけないと感じました。
- DXについていけない、そもそもPC操作がおぼつかない人への対応が課題
- プログラミングの実践も見せていただき、参考になりました。ありがとうございました。
- 市民活動のサポートの他にNPOの運営もしているので、どれも活動に活かせる内容ばかりで大変勉強になりました。連絡にはLINEを使っていますが、共通意識を持って活動に取り組みそうです。
- かゆいところに手が届く内容でした。ありがとうございます。

心を動かす“伝え方”には、理由がある ～想いと論理をつなぐプレゼンの方法～

2025年12月13日(土) 10:00~12:00 Zoom開催 受講者 70名 (内 Zoom 11名/後追い視聴 59名)



講師：行名 則子さん

千葉商科大学名誉教授/千葉商科大学大学院客員教授

プレゼンテーションって、どうすればうまく伝わるんだろう? そんな疑問を皆さんと一緒に考えます。資料の作り方や話し方のエフ、聞き手とのかかわり方などを具体例を交えてご紹介します。

人前で話すのが苦手な方も、少し慣れてきた方も、自信のある方も気軽にご参加ください。対話や実践を通して新しい気づきを共有できる時間にしたいと考えています。皆さんのプレゼンテーションのヒントになれば幸いです。

【講座のねらい】

- 「伝える」から「伝わる」プレゼンにするコツを知る
- 自分の活動に“説得力”をプラスする
- 想い+ロジックで、聞き手の心を動かす力を得る

【講座概要】

- プレゼンテーションの種類と技術
- インタラクション
- プレゼンテーションの型
- 「伝える」から「動かす」へ

想いと論理を融合させる、聴き手の心を動かすプレゼンテーション技法を解説いただいた。1分間60文字を基準とした構成、PREP法などの実践的な「型」を伝授。テンポやタイミングなど、細やかな部分まで実践しやすい法則をわかりやすく教えていただいた。練習の機会もあり、活動の熱意を成果へ繋げる表現力を磨く機会となった。

受講者の皆様の感想

- プレゼンテーションの話法技術をここまで体系的に学んだことはありませんでしたので、大変勉強になりました。先生のお声も声優さんのようで、とても聞きやすく分かり易い講義内容でした。ありがとうございました。
- 具体的な、話す時間の区切りやテンポ、タイミングを教えてくださいました。何となくではなく、法則があることを分かりやすく教えてもらいましたので、実践しやすいと思いました。
- 説明がとても分かりやすくて良かったです。オンラインで開催する場合の場を和ませるアイスブレイクの手法や資料作りのためのPREP法の具体的な手法などをもっと学びたいと思いました。
- プレゼンテーションの型や時間配分、具体的な声の出し方まで、非常に勉強になりました。
- 団体の活動内容を興味を持っている人達に対し正しく伝えることは難しいと感じています。今回、話す順番・内容・時間配分のことなど分かりやすくお話いただきとても参考になりました。一緒に活動しているメンバーとも共有していきたいです。また今後プレゼンなどの場面があれば実践していきたいです。

第4回

届け、この情熱！

助成金をつかむ“伝え方”講座

～助成金申請疑似体験型ワークショップ開催～

2026年1月18日(日)14:00~16:00 千葉市生涯学習センター研修室1 (会場とオンラインの同時開催)
受講者 61名 (内会場 4名 / Zoom 5名 / 後追い視聴 52名)



講師：山田 泰久さん

公益財団法人日本非営利組織評価センター 業務執行理事

1996年日本財団に入会。2009年から公益コミュニティサイト「CANPAN」の担当になり、NPO×情報発信、助成金、IT活用、寄付をテーマに様々なNPO支援の活動に取り組む。2016年4月、日本非営利組織評価センター（JCNE）の設立とともに、業務執行理事に就任し、非営利組織の組織評価・認証制度の普及に取り組んでいる。

【講座のねらい】

- “きちんと書く”申請書のポイントをつかむ
- 申請書に自分たちの強みや情熱をのせる力をつける
- 本番さながらの体験で、自信をつける

【講座概要】

- 4つの資金源・助成金の活用
- 助成金による資産作り
- 助成金の情報と付加価値
- 疑似体験型ワークショップ

資金調達の鍵となる申請書作成について、必要性・実現可能性・有効性・持続性の4視点を軸に解説していただいた。具体的なデータやフレームワークで説得力を高める手法を提示いただき、実際に団体活動を1枚の応募用紙に書き起こし、フィードバックを受けた。熱意だけでなく客観的な計画を示す重要性を再認識した。

受講者の皆様の感想

- 取り組んでいる事業ごとに、適切な財源をもう一度見直してみようと思いました。
- 助成金を出す企業や自治体側の考えてることや視点がわかり、助成金を取得しやすい申請書を書くことができるようになりそうです。
- とても貴重なお話をありがとうございました。
- もっと地域のことを知りたいと思いました。
- 具体的なお話をお伺いでき、ありがたい時間でした。
- とても分かり易く、助成金申請書の書き方のポイント・コツが分かりました

活動を一步先へ！

休眠預金を使った事業展開

～社会課題解決に取り組むためのロジカルな事業設計を知る～

2026年1月31日(土) 10:00~12:00 Zoom開催 受講者 58名 (内 Zoom 6名/後追い視聴 52名)



講師：高木 陽子 さん

一般財団法人 日本民間公益活動連携機構 (JANPIA) 事業部 リーダー

1977年福島県生まれ。修士(工学)号取得後、都市計画コンサルタント、子育て支援団体の中間支援組織を経て、2020年より現職。社会課題に真摯に向き合い地道に活動する現場に触れ、民間公益活動の重要性を感じるとともに、いかに継続・発展させていくかを指定活用団体POの立場から日々模索中。

【講座のねらい】

- 休眠預金の仕組みと活用の流れを知る
- 社会課題解決のためのロジカルな考え方を知る
- 活動が目指す姿の選択肢を増やす

【講座概要】

- 休眠預金等活用制度の概要
- 質疑応答
- 実行団体の活動事例
- 事業設計を考える

休眠預金等活用制度についてその仕組みと活用の流れを説明いただいた。現在伴走支援を受けている実行団体の話を実際に聞いたのち、自身の団体の事業計画を考えた。事業設計図を作成するまでのステップを、社会課題の深掘りから丁寧に体系的に解説した。地域を巻き込み、変化に柔軟に対応しながら目標を達成することのできる休眠預金事業という枠組みを学ぶ機会となった。

受講者の皆様の感想

- 休眠預金についての概要を利用希望団体に紹介ができそうです。また、こうした社会課題解決のための事業展開をあらためて考える良い機会になりました。
- 本日は休眠預金制度のご講演ありがとうございました。当センターでも休眠預金を活用した講座を実際に行ってもいるのですが、全体像を理解できていなかったため、とても勉強になりました。休眠預金活用による事業展開を考えることにより、社会課題解決のための深掘り、実現に向けての考え方の整理、そして実際の活動計画策定まで、全体の事業設計を考えられることになると理解しました。当地域での市民活動団体に向けて、ぜひこうした学びの機会を作れたらと思いました。
- まだ構想の段階でしたが、チャレンジできるんだと感じました。
- アイルゴーの榎本さんのお話は、共感出来ました。私たちは、外国人の技能実習生や特定技能、技人国VISAで日本に来てる外国人の方々と日本人、地域の共生を実現したいと活動しています。是非、一度ご相談に伺いたいと思います。



主催：千葉県

企画・運営：一般社団法人鎌ヶ谷マネジメントラボ

Email: kamalabo.info@gmail.com

URL: <https://kamalabo.wordpress.com/>